

令和 7 年 4 月 2 日

令和 6 年度 学校関係者評価委員会報告書

学校法人 葵学園
埼玉医療福祉専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検評価委員会が作成した令和 6 年度自己点検・評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会を実施しました。令和 6 年度学校関係者評価について、下記のとおり報告します。

<日 時> 令和 7 年 4 月 1 日(火) 16:00～17:00

<開 催> 埼玉医療福祉専門学校

<出席者> 委員

時田 幸之輔 氏 埼玉医科大学

山畑 信太郎 氏 深谷中央病院リハビリテーション科理学療法士

事務局 (学校側)

大和田 和彦 埼玉医療福祉専門学校 副校長

学校関係者委員会報告

～各項目に関する学校関係者評価委員の評価・意見～

基準 1 教育理念・目標

●医療専門職である理学療法士に求められる知識・思考・技術などについて教育理念、目標、育成人材像として明確に定められている。また、設置母体である深谷中央病院とも連携し、臨床現場における実習に力を入れるなど、実践的な職業教育がおこなわれている。

基準 2 学校運営

●適切に運用されていると思う。

基準 3 教育活動

●学年における教育到達レベルは、理念・教育目標に即し、社会や臨床現場が求めるニーズ、理学療法士協会が定める到達目標に基づいている。

●質の高い教育がおこなわれていると感じる。

基準 4 学修成果

- 退学率の低減が図られており、今後も中途退学低減への継続した取り組みに期待したい。
- 資格取得は、昼間部、夜間部共に高い合格率であるが、次年度は両科ともに国家試験合格率100%を達成してほしい。

基準 5 学生支援

- 経済的な支援体制をより充実させる必要がある。
- ボランティア等の課外活動を充実させたい。

基準 6 教育環境

- 施設・設備は清潔に管理されており、快適な教育環境が維持されている。

基準 7 学生の受入れ募集

- 学生募集に非常に苦勞したことは次年度への課題である。オープンキャンパスのプログラム内容や入試の実施時期などの見直しを検討したい。夜間部の募集については、インターネット広告などさらに力をいれていく必要がある。

基準 8 財務

- 特になし

基準 9 法令等の遵守

- 特になし

<総括>

委員の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、高等教育機関として、また地域に根差した専門学校として使命感をもって学生を地域医療に貢献できる人材として育成していきたい。またこうした期待に応えられる学校運営を今後も目指していく。